

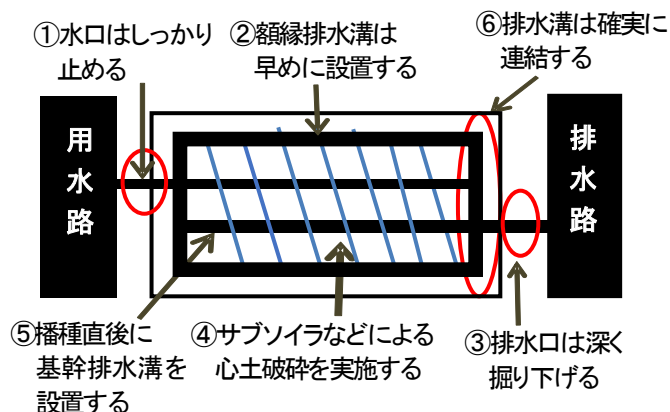
大豆栽培管理情報（播種）

令和7年5月吉日
高岡市農業協同組合
高岡農林振興センター

排水の徹底と適正な播種量で苗立ち本数を確保しましょう！

1 排水対策

- ・用水路や水口、隣接の水田からの漏水がないか事前にチェックしましょう。
- ・額縁排水溝の設置と心土破碎は、早急に確実に実施しましょう。
- ・播種後は、播種によりできた溝と額縁排水溝の手直しを行い、必ず深く掘り下げた排水口に連結しましょう。



2 土づくり

- ・耕起前に石灰質資材を必ず施用し、大豆の好む土壌 pH（6.0～6.5）にしましょう。
- ・大豆の作付回数の増加に伴い地力が低下するため、有機物の施用を積極的に行いましょう。
- ・麦あとほ場では、麦稈の腐熟を促進させるため、基肥を窒素成分で 1.5～2kg/10a 増量しましょう（下表）。

【資材・肥料の施用量の目安（10a 当たり）】

項 目	資 材 名		単作	麦あと
石灰質資材	苦土石灰		100～200kg	
有 機 物	発酵鶏ふん		100～150kg	
基 肥	BB084 (10-18-24)	砂壤土～壤土	20kg	35kg
		粘質土	15kg	30kg

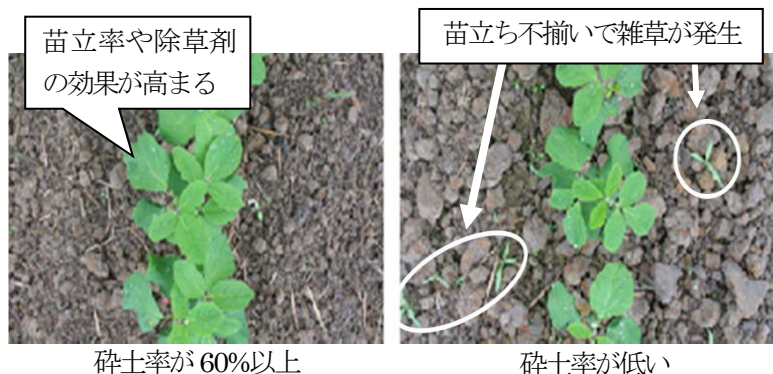
3 種子消毒

- ・フタスジヒメハムシや茎疫病などの病害虫を防除するため、種子消毒は必ず行いましょう。

薬剤名	処理方法
クルーザーMAXX	乾燥種子 1 kg あたり原液 8 mL 塗沫

4 耕起・播種作業

- ・耕起、砕土・整地、播種、作溝の一連の作業は、土壌が乾いている状態で1旦で行い、砕土率 60%以上を確保して苗立ちを安定させましょう。
- ・大麦の収穫後は、直ちに播種が出来るよう作業計画をたてましょう。



【播種時期別の目標栽植本数】 苗立ち率 90%の場合

品種	播種時期	播種量（大粒） (kg/10a)	栽植本数 (本/㎡)	設定条件（TFR 型、条間 80cm の場合）			
				目皿	スプロケット		播種粒数 (粒/m)
					目皿側	車輪側	
エンレイ	6月上旬	5.1～5.9	14～16	B-22	14	9～10	12～14
				B-2	10～11	13	
	6月中旬	5.9～6.6	16～18	B-22	13	10	14～17
				B-2	9～10	14	
シュウレイ	6月上旬	4.4～5.5	12～15	B-3	10～11	11	11～13
					11	13	
	6月中旬	5.5～6.6	15～18		10	13～14	13～17
					9	14	

※【6年産大粒百粒重 エンレイ 33.1g シュウレイ 33.1g】ともに5年産種子よりやや小さめ。

※一部の目皿式播種機(高速播種のもの)は、表とスプロケットの組合せが異なるのでJAにご相談下さい。

【播種作業のチェックポイント】

- ① 降雨直後の播種作業は厳禁です。必ず乾いている条件で実施しましょう。
- ② 目皿やスプロケットの組み合わせを確認し、播種時期に応じて播種量を調整しましょう。
- ③ ゆっくりとした速さ(0.5m/秒程度)で播種を行いましょう(30aほ場を3連播種機で70分が目安)。
- ④ 播種量と播種深度(3cm程度)が適正になっているか確認しましょう。

5 除草剤散布

- ・除草剤は、播種・覆土後、速やかに散布しましょう。
- ・帰化アサガオ類、イヌホオズキ類などの難防除雑草の発生が見られるほ場は、雑草種に応じて防除効果の高い除草剤を選びましょう。

薬剤名	10a 当たり散布量	難防除雑草の草種	使用時期
トレファノサイド粒剤2.5	4～6kg	－	播種後出芽前
サターンバアロ粒剤	4～6kg	帰化アサガオ類	播種後出芽前 (雑草発生前)
ラクサー粒剤※ ¹	4～8kg	イヌホオズキ類 ヒユ類	
エコトップP乳剤※ ²	400～600mL (希釈水量 100L)	イヌホオズキ類 ヒユ類	

※1：ラクサー粒剤は、トレファノサイド粒剤2.5より比重が大きいため、過剰散布にならないよう機械を調整してください。

※2：エコトップP乳剤は、散布直後の多量の降雨により薬害が生じるおそれがあるので天候に注意しましょう。